

分野を超えてつながる研修会

～能登半島地震から学ぶ～

総務課防災危機管理室 TEL 25-1118

参加費無料
定員 120 人

と き

7月11日(金)
午後1時30分～5時

と ころ 市民体育館サブアリーナ

対 象 観光事業者、高齢者支援事業者、障がい者支援事業者、妊産婦／乳幼児支援事業者、NPO／ボランティア団体、地域団体、行政職員、社協職員 その他関心のあるかた など

有事の際に被災者に寄り添い、速やかな復興支援を行うため、異なる分野の担い手が繋がりを交流することを目的とした研修会です。

申し込み 締切 7月8日(火)

QRコードより申し込んでください。

※講演のみの参加も可能です



申込フォーム

問い合わせ先 NPO 法人みえ防災市民会議

TEL 080-3669-9820 ✉ vbosaimie@gmail.com

講演 1 午後1時40分～2時40分

和倉温泉 ゆけむりの宿美湾荘 会長 多田 計介 氏

- ・被災ホテルの体験談
- ・早期復旧を果たすために平時から取り組むべき課題

講演 2 午後2時45分～3時45分

輪島市 健康福祉部長 河崎 国幸 氏

- ・福祉避難所についての考え方や地域と福祉施設医療機関などの連携

グループトーク 午後3時50分～5時

グループに分かれて質疑応答や意見交換を行う交流の場です。

主催 NPO 法人みえ防災市民会議

共催 鳥羽市

協力 株式会社 戸田家、NPO 法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター

後援 伊勢市、志摩市、鳥羽市観光協会、伊勢市観光協会、志摩市観光協会、鳥羽商工会議所、鳥羽市社会福祉協議会、伊勢市社会福祉協議会、志摩市社会福祉協議会、みえ災害ボランティア支援センター

穏やかな磯で冬から春に見かける真っ赤な毛のような海藻、シウジョウケノリ。漢字で書くと猩猩毛海苔となるらしい。猩猩とは中国に伝わる妖怪で、それをモチーフにしたものが能の演目の中にある。その中に出てくる猩猩は海に棲む精霊で、赤髪の装束で表されることから、そのように呼ばれているとか。たしかに、長く伸び、塊のようになつて磯にゆらめく姿は、赤い獣や妖怪のようには見えなくもない。そのせいではないだろうが、春先になると、「あの赤い毛むくじやらの海藻は何?」とか「あの赤いのは食べられるの?」と問い合わせが時々ある。さつとゆがくと柔らかくなり、風味も普通の海藻だが、毛玉のような食感で食べごころは良くない。

鳥羽・海藻文化革命 岩尾博士の 海藻博物記

vol.41

～シウジョウケノリ～

水産研究所 TEL 25-3316



細かく枝分かれした体



100倍に拡大したもの



40倍に拡大したもの



岩の上に生える
シウジョウケノリ

さて、この妖怪、もとい、シウジョウケノリの仲間は非常に繊細な赤い毛状の体であり、真夏を除いてほとんど年中、磯や係留ロープなどに付着しているものを見ることができ。手に取り、水に広げてよく見ると、非常に細かく枝分かれしておりとても美しい。顕微鏡で観察すると、ルビー色をした細長い細胞が整然と組みあがっているのがわかる。見とれてしまわないだろうか。とても妖怪とは思えない。いや、その怪しいまでの美しさが妖怪のそれなのかもしれない。